

JARL

香川クラブ報

No. 362 平成20年12月15日



J A 5 Y D E

忘 年 会 の 御 案 内

８Ｊ５ＫＡ６０の運用、６０周年記念式典、クラブミーティングも終わり一寸ホットしたところです。

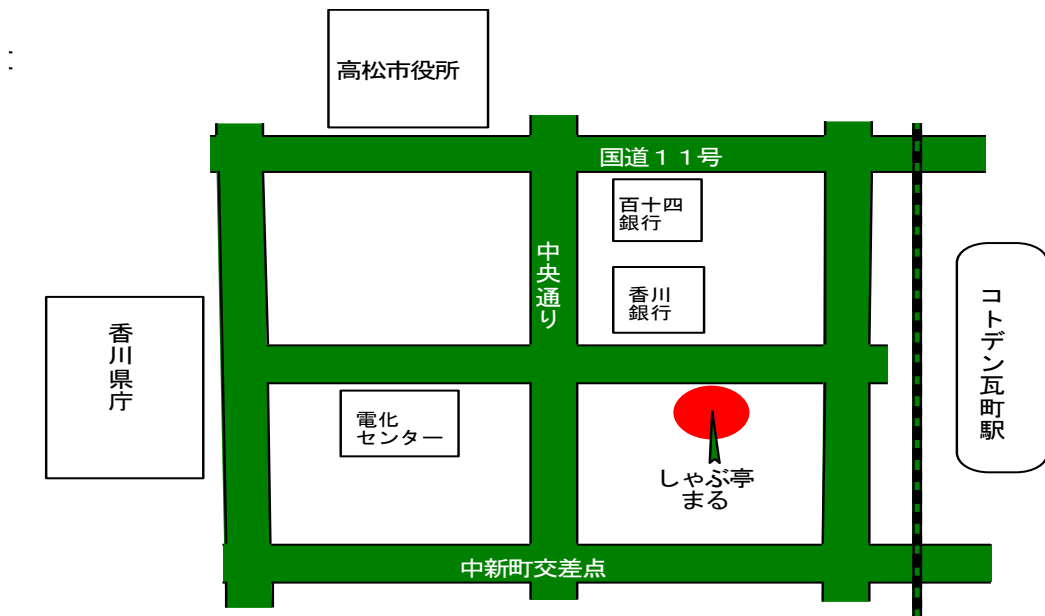
ガソリン、灯油も値が下がり出し世の中少し暖かくなって来ているのでしょうか？景気が早く良くなってほしいですね。

美味しいお酒をこの一年間振り返って楽しく喋りながら飲みませんか！

ＹＤＥ恒例の忘年会の日時が決まりました、お忙しいとは思いますが多数ご参加下さいます様下記の通り案内を申し上げます。

記

日 時 １２月２２日（月曜日） １９：００より
場 所 「しゃぶ亭 まる」
高松市亀井町８－８
ＴＥＬ：０８７-８３５-８５９５
会 費 男性 ５，０００円
女性 ４，０００円
申し込み 締切１２月１５日（月曜日）
連絡先 ＪＨ５ＥＺＢ
ＪＨ５ＰＭＺ



クラブミーティングの報告

晩秋とは言え急に寒さが感じられる様になった11月12日(水)19時30分より、恒例のミーティングを成合町「喫茶 不二の屋」で開催しました。同会是三木副会長の司会ではじまり三好会長の挨拶があり、9月7日から10月末日までの2ヵ月にわたる



〔J A R L 香川クラブ創立60周年記念局8 J 5 K A 6 O〕の運用がクラブ員皆様のご協力で、当初の予想を遙かに超える成果を納めることが出来たことに対しての謝辞、また、それに伴う打ち上げ会開催のこと、今年度の高松市防災訓練が牟礼町で実施されるので出来るだけ参加をお願いする等のおことばがありました。続いて、以下のことについて説明と協議が行なわれ、活発な意見交換もあり、今年最後のミーティングを予定通り終了しました。ご参加の皆様お疲れ様でした。

記

- 平成20年11月8日(日) 北四国A R D F 競技大会 (詳細別掲参照)
さぬき市門入ダム周辺
当クラブからも大勢が役員になり、現地の下見や関係機関に開催の届出などでご尽力をして下さいました。競技直前まで雨が降っておりましたが、競技中は雨もあがりベストコンディションの競技になり、関係者の皆様方もほっとしていました。役員、選手のみなさんお疲れ様でした。

- 平成20年11月24日(月) 高松市牟礼町 牟礼中学校 高松市防災訓練
*当日は雨天のため中止になりました。

- 香川マラソンコンテスト J A 5 Y D E 局の運用予定担当者選定

香川マラソンコンテスト運用者

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
運用者	JA5TFJ			JG50BX		JI5XTP		JH5EZB			JI5XTP		JH5LYW		

*交替は当日の08:00

- 平成20年12月22日(月) 恒例香川クラブ忘年会 (詳細別掲参照)

<参加者>JA5AHM・JA5IJL・JA5TFJ・JH5EZB・JH5LYW・JH5PMZ・JH5WMN・JF5ICA・JI5XTP

「J A R L 香川クラブ創立60周年記念局8 J 5 K A 6 O」 の運用結果報告

みだしの記念局「8 J 5 K A 6 O」は本年9月7日から10月31日まで延べ52日間、全国及び国外にも向けて、各バンドにわたりCW、SSB、FMと巾広く運用し、相手局から「クラブ創立60周年おめでとう！」のメッセージを受け、大いに伝統ある香川クラブの名声を高めました。

詳細結果は次表のとおりです。運用を担当された皆様大変お疲れ様でした。

JARL香川クラブ結成60周年記念局「8 J 5 K A 6 O」運用結果報告															
	1エリヤ	2エリヤ	3エリヤ	4エリヤ	5エリヤ	6エリヤ	7エリヤ	8エリヤ	9エリヤ	φエリヤ	D X	計	CW	SSB	FM
1.9M	51	27	39	26	13	18	13	12	6	16	0	221	221	0	0
3.5M	425	200	243	122	60	90	108	44	42	81	66	1,481	1043	438	0
7M	2050	581	412	270	215	453	645	303	115	313	97	5,454	2471	2983	0
10M	31	1			9	3	16	9	0		2	74	74	0	0
14M					7							7	6	1	0
18M					6							6	6	0	0
21M					7							7	6	1	0
24M					6							6	6	0	0
28M					7							7	6	1	0
50M					8							8	5	3	0
144M		1	10	8	23							42	2	10	30
430M			4	8	31							43	1	0	42
1200M					4							4	0	0	4
計	2,557	810	708	434	396	564	782	368	163	413	165	7,360	3,847	3,437	76
※	運用日数：52日間														
	運用者：JA5TFJ、JH5EZB、JH5LYW、JH5PMZ、JE5PBO、JF5ICA、JI5SAO、JI5XTP、JR5DPV														

このような記念局は度々出来るものではなく、また開局にあたっては会長をはじめクラブ員の皆様方のご尽力があってこそ開局することができました。

また、J A R L 香川クラブが香川県内でアクティブに活動をしている意味合いで、県内の市郡全てに移動しQ R Vしました。

J A R L 香川クラブ結成60周年記念式典の開催報告

11月1日（土）栗林町のルポール讃岐（旧讃岐会館）でJ A R L 香川クラブ結成60周年記念式典と8 J 5 K A 6 Oの打ち上げを開催しました。三好会長から出席者に記念局が無事に運用できたことに対して感謝の意がのべられました。交信局数も7360局に及び「セブンティスリー60」さようなら60周年の語呂合わせまで出来、感慨深い記念局運用でした。また、趣味の会からもお祝いを戴き、香川クラブの活動が多方面にわたって活躍しているのを改めて感じました。宴会中も天野名誉会長が持参していたJ A R L 香川クラブが歩んできた記録写真を見ながら、熱き思いでアマチュア無線に携わってきた先輩達の懐かしい、そして若々しいお顔を見ながら、その時代の思い出話を語ってくれました。

これからもJ A R L 香川クラブが永遠に続き、クラブ員が仲良く活動できる事を誓い閉会となりました。

<参加者>JA5AHM/JA5ETK/JA5IJL/JA5TFJ/JH5EZB/JH5LYW/JH5WMN/JR5EBH/JR5GLO
JF5MED/JG5PBO/JG5TJJ とあきら君/JI5XTP

ARDF 競技大会に参加してきました

2008 全日本 ARDF 競技大会（鹿児島県霧島市）

朝霧の霧島を望み会場に足を運ぶ。昨日のエキシビションで好成績をあげた 2 人に続けと気合いを入れる。全日本大会で上位入賞する選手達は絶えず走る、ひたすら走る。走り続けられる体力を日頃から鍛えているのだろう。史上初の 3.5MHz と 144MHz クラスで優勝した JF5MED 山田 OM も ARDF の思い入れが人より数段高く、常に鍛錬をしているようだ。全国に香川の ARDF'er ここにありと知らせめ、我々も鼻高々であるが、山田 OM の名を汚さないためにも日頃から ARDF 競技に対し知能と体を鍛錬しなければならないと思う。

<3.5MHz 部門（エキシビション）> 10 月 25 日（霧島自然ふれあいセンター周辺）

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	JF5MED 局の一人舞台。
M21	1 位	JF5MED	1 時間 14 分 40 秒	5 個	3.5MHz 競技に対する思い入れが出た試合だった。
M50	5 位	JH5LYW	1 時間 34 分 58 秒	3 個	

<144MHz 部門> 10 月 26 日（霧島自然ふれあいセンター周辺）

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	各局、車中での意気込みはどこえやら。全国大会という名前に押しつぶされ、意気消沈。でも帰路の車中では早、次期全国大会の話題で盛り上がる。
M21	1 位	JF5MED	1 時間 03 分 56 秒	5 個	
	15 位	JG5OBX	1 時間 47 分 23 秒	2 個	
M50	15 位	JH5LYW	1 時間 54 分 12 秒	3 個	
	18 位	JG5WTP	1 時間 49 分 49 秒	2 個	
	時超	JI5XTP	2 時間 01 分 06 秒	4 個	

第 16 回北四国 ARDF 競技大会（香川県さぬき市寒川町 門入ダム周辺）

<144MHz 部門> 11 月 16 日

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	全 TX 間が最短距離で 7 Km で脚力が要求される大会であった。サービス TX もあったが、さすが審判長という TX もあり、楽しい競技大会となった。
W35	1 位	JF5ICB	1 時間 54 分 20 秒	2 個	
	2 位	JG5TJJ	1 時間 40 分 25 秒	1 個	
M21	2 位	JH5LYW	1 時間 53 分 23 秒	4 個	
M40	4 位	JI5SAO	1 時間 37 分 22 秒	1 個	
M50	1 位	JI5XTP	1 時間 51 分 39 秒	4 (5) 個	

<役員及び審判員>

JA5TFJ, JH5WMN, JH5PRJ, JE5PBO, JF5MED, JG5OBX, JG5RST, JG5WTP

第 20 回広島県 ARDF 競技大会（広島県三原市）

<144MHz 部門> 11 月 30 日

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	一句 「紅葉舞う 安芸の山野を 我駆ける」 JH5LYW
M21	1 位	JH5LYW	1 時間 13 分 25 秒	5 個	
	3 位	JF5MED	1 時間 24 分 24 秒	5 個	
	4 位	JG5OBX	1 時間 33 分 53 秒	3 個	
M50	2 位	JG5WTP	1 時間 11 分 26 秒	4 個	

世界遺産「屋久島」と全日本 ARDF 大会

JH5LYW 三好伸幸

「平成 20 年度の全日本 ARDF 競技大会は鹿児島と決まった」と聞いたとき、すぐさま「世界遺産屋久島」を訪ねたいと思った。観光パンフレットやインターネットで資料を眺めては、ARDF のことより心はすでに屋久島に飛んでいる。

10 月 24 日、いよいよ鹿児島島に向け JA5UVT 詫間夫妻と車で出発した。三崎港からフェリーで佐賀関に上陸。太平洋を眺めながら霧島にある温泉宿についたのはすでに夕暮れになっていた。

それより先「8J5KA60」の運用中に意気投合した指宿市の JO6GIS 宮田 OM と屋久島の JA6MTJ 渡 OM と会えるのも楽しみであった。

旅館は、泥湯で有名な“さくらさくら温泉”。

まずは旅の疲れを癒すべく湯に浸かることにした。良く温まって、おもむろに露天風呂へ。詫間 OM とお互いに泥を塗りあって大はしゃぎ。すっかり疲れも皮膚の老廃物も取れ爽快である。

美味しい料理と、地元の焼酎を堪能し床に入ると、あつと言う間に朝が来た。

大会までには時間があるので、日本発祥の地“霧島神宮”に参拝。遠く桜島や開聞岳を眺めながら大会の完走と旅の安全を祈願した。

道の駅“霧島高原”で昼食の弁当を調達し会場へ向かった。

会場に着くと JF5MED 山田 OM はじめ、遠くは新潟から車で来ている方など、おなじみの面々が競技の準備をしている。

バスでスタート位置まで移動。

待機していると「スタッフのミスで貯水タンクの水が漏水してしまい、トイレはもちろん借りている施設の水がない」と大騒ぎ。片方では「選手輸送用のバスが 3 台も交通事故を起こした」とか、いろいろトラブルがあったようだ。

競技はエキシビション 3.5MHz の部。

鉄塔に惑わされ、競技エリアを 2 周もした挙句 3 個しかゲットできず時間切れ。

バタバタしなくて良いのに気ばかり急いて、



霧島神宮



さくらさくら温泉の泥湯

いつもおなじみのミスで自滅。

なかなか反省が生かされなく、自分の馬鹿さ加減に呆れる。

旅館に一旦帰って一風呂浴びて会場に Uターンし開会式に参加。霧島市長のあいさつが印象的であった。話題の東国原知事にかなり影響を受けているようだが元気なことは良いことだ。開会式終了後、再度旅館に帰り夕食に舌鼓。競技は散々であったが心身ともに絶好調。お開き後、部屋に帰って床に就いた。

朝、眼が覚めると左の向う脛がズキズキする。「どうしたのか」と見て見ると大きな湿布薬が 2 箇所張られているのだが、状況が全く理解できない。

詫間 OM が「夕べ部屋に帰った後、またフロントのほうに出かけて行って、帰ったら怪我をしていたのでホテルで湿布薬を貰って貼った」とのこと。あー恥ずかしい。思い返してみると、宮田 OM が見えられないのでずっと気にしていたからそのせいだろうと思うが、記憶が無い自分が情けない。結局宮田 OM とは会えずじまい。後日「急用ができて行けなかった」とのこと。

そんな足をかばいながら、いよいよ本番。本大会の 145MHz の部に参加する香川県のメンバー 5 名と合流。健闘を称えあった。いよいよスタートと思いきや「トラブルで 5 分遅れます」「10 分遅れ」ついには「15 分スタートが遅れます」とのこと。

事前に何度も予行演習をし準備万端で抜かりは無いと思われるが、大なり小なり全日本大会にはトラブルが付いて廻るようだ。

近年中には、香川県に順番が回って来ると思われるので、「他山の石」とせず、考えなければならぬと思う。

競技のほうは、思い込みと焦りと猪突猛進でまともや大失敗。昨日の失敗が生かされず惨めな結果に終わり、つくづく自分に呆れる。それでも閉会式が終わる頃にはすっかり気分は旅行に切り替え済み。競技終了後に降り出した雨に気もそぞろである。

鹿児島空港で山田 OM と別れ、一路屋久島に向かった。久しぶりのプロペラ機と悪天候により、お尻に伝わる振動がこそばかった。



香川からの参加の各局



に。私は渡 OM の案内で白谷雲水峡を散策した。

お天気にも恵まれ、いろいろな場所、風景、物語、経験ができた。

各局には申し訳ないが、とてもじゃないが数行の文章で書ききれものではない。

もし、「どんなところか、どんなことがあった」か、聞きたいという方がいましたら直接聞きに来てください。それほど“屋久島”は期待したとおりのところでしたよ。

途中で、「埼玉から来ている」という女子大生の 2 人と道ずれになったことも、思い出の 1 ページとなった。

ホテルに着くと「高松の三好さん？」と声を掛けられた。「渡さんですか？」その後はまるで旧知の仲。アマチュア無線の良さを再認識した。

「後で、迎えに来るから飲みに出しましょう」とのこと。

入浴と夕食を済ませた頃、渡 OM が迎えに来た。

詫間 OM と 3 人で渡 OM の奥様がやっているスナックへ移動。まぼろしの焼酎「三岳」で乾杯。何杯もお代わりをし夜の更けるのも忘れそうな夜になった。

翌日、詫間夫妻は定期バス観光

渡 OM は、屋久島では 3.5MHz から 430MHz まで国内向けで運用する唯一の局だそう
うで、良く島内や種子島から移動運用もしているそうである。

移動場所にも案内していただき、
来シーズンには V/UHF で交信す
ることを約束した。

また、遠洋漁業の航海士として長
く勤務され、「船を下りてからは愛
媛丸や香川丸の航海指導にも当た
っていた」とかで香川県のことも
良く知っていた。「スペイン語や英
語も話せるが、国内 QSO のほうが
楽しい」とか。

渡 OM や女子大生と別れ、ホテ
ルに帰り詫間夫妻と合流。早速入
浴、夕食を済ませ床についた。

翌朝、レンタカーを借り紀元杉やヤクスギランドを散策。枕状溶岩を最後に屋久島空
港を後にした。空から見る屋久島と種子島の風景が眼に焼き付いて離れない。



女子大生とともに、もののけ姫の森



紀元杉の下で

“後ろ髪を引かれる”とはまさにこのこと
だろう。

鹿児島空港からどう帰るか検討してい
たら「私、どちらかと言えば船より車が良い」
という詫間 OM の奥さんの一言で決定。何
度か運転交代の休憩を取りながら、自宅に
たどり着いたのは 29 日の深夜 1 時半であ
った。

全日本 ARDF 競技大会を利用して毎年
のように旅を楽しんでいるが、今回も期待に
違わず素晴らしい旅であった。

また元気なうちにぜひ訪ねたいと思っている。

そして、今度は寝袋やテントを提げ、屋久島の山々を縦走してみたいと思っている。そ
れほど神々しい島である。

「屋久島に魅せられてそのまま居残る
若者やリピータが多い」と聞いて、何
となくわかるような気がする。

しかし、「気温の変化のせいか、登山者
たちの吐く息のせいか、苔の量や色が
以前よりかなり少なくなった」とか。
また、観光地のためある程度は仕方な
いのかも知れないが、道路の改良工事
などで自然の一部が壊されているのが
気になった。

とは言うものの“世界遺産屋久島”

をまだ訪れたことが無い方はぜひ検討してみてください。

来年の全日本 ARDF 競技大会は茨城県に決定している。

さて、今度はどこを旅しようか・・・。



屋久島空港

「2008年全日本ARDF競技大会奮戦記」

3. 5MHz 帯エキシビジョン

DE JF5MED

今年の全日本は鹿児島で実施ということで、恒例なら自家用車での参加を今回は見送り空路を利用の公共機関利用に切り替えました。以前、鹿児島まで車で行ったことがあるのですがその時の非常にえらかった思い出が脳裏をよぎる形で少しでも楽に旅行を楽しみたいと考えた末の行動です。

旅行代理店には8月26日に飛行機を利用の鹿児島旅行ということで航空機の予約を早割りで取って貰い、10月24日金曜日の夜には鹿児島市内で一泊を格安の1.5kと常識では考えられないような格安ビジネスプランでお世話して貰えました。



公共機関を使った旅なので事前の下調べで鹿児島中央駅現地着は19時30分前後と比較的遅い到着にはなるのですがホテルチェックイン後は、すぐさま夜の鹿児島繁華街へと足を延ばし地元の郷土料理と地酒を堪能しました。

以前来た時は霧雨で桜島を拝む事が出来ず残念でしたが今回はバス移動の際、桜島をこの目に見る事が出来て桜島から噴煙が出ている勇姿が見られて良かったです。

明日は、JARL 指導のもとで2日間ARDF 競技をするのでお酒も程々に抑え

ましたが薩摩料理の黒豚はとても美味しかったです。

10月25日土曜日、当日の天気は晴れでARDFには申し分ない日和でした。3.5MHzのARDFについてですが近年、受信機が比較的安く入手出来ることで関東あたりでは、頻繁に大会も開催されるようになってきています。これはJARL主催の3.5MHz帯エキシビジョン大会でも同様で、参加人数もジュニア世代が数多く参加している事でその活気ぶりから来年度からの正式種目として位置付けを検討する動きも有るようでその点では歓迎したいです。

さて、競技会場では現地まで受信機やら競技スーツ一式を、自家用車で鹿児島まで来られたJH5LYW 三好会長の所に半ば強引に預けてましたので早々に荷物を受取り、いつでも競技が出来る格好に着替えた上での早めの昼食をとりました。大会会場では早くも、全日本大会のお祭りムードでその雰囲気漂浮させるかの如く一年ぶりの顔ぶれの方や前回の関西3.5でお会いした方と、私の知るかぎり7と9エリアを除くすべてのエリア方々とお会い出来ました。

本部近くでは早くも3.5MHzの試験電波が送信されておりこの日の送信装備チェックやここ鹿児島のこの時間帯のコンディションの確認、受信機の確認ともう本番さながらの念の入れ様があちこちに見受けられました。その光景を見ているうちに自らも競技会が楽しみだし闘志が非常にみなぎってきていました。

エキシビジョンのスタート地点までは、バスで10分ほどの畜産場まで行きました。建物内が選手待合所でスタート地点からでは、フィールドがどの様な所なのかは全く予想が立ちませんでした。スタートは7組と全体では後ろのほうのグループであったので少し安堵していました。スタートしてすぐ先発者の動きも目で捉えられるし私より後続グ

ループは2組しかなかったので後ろのグループに追い抜かれる事は無いと半ば安心感のようなものがあり、うまく雑念が抜けた状態で競技にのぞめました。受信開始地点ではTX すべての電波を聞く事は出来ましたが設定は扇形に配置してあるようで全部捕るとなれば、今回は相当効率よく回らなければタイムに影響するだろうと判断し逆時計回ルートをとる事にしました。

地図上ではゴールは東に位置づけられており、スタート地点が地図の左際でゴールに行くには山裾を右か左に迂回しながら進まなくてはならず効率の良い選択ルートの取り方が大変だと考えました。さすが全日本、審判長の坂口OM の考えそうなタフなコース設定だと内心感心していました。

私の受信ではまず最初に、2TX が受信開始地点から延びる道方向のはるか先から強烈に入感、これを第一ターゲットに設定。続いて 3TX が南東で高压電線がる山の向こうからで 4TX は真北から、5TX は山の頂上が見える北北東から入感で、その番号順に捕らえるのがいいだろうと判断、最後の 1TX はビーコンがある東から入感なのでこれを最後に探すといった具合で競技を進めていきました。



2TX は林のくぼ地に設定してあり、真上に電線も有ったので想像以上に手こずりました。特に林の中では真上が見れないから電線の存在に気がつかず予想外の所をウロウロとしてタイムロス、2TX 設置場所から 100m は離れた辺りで他の競技者と藪こぎをする羽目になってしまいました。

設置場所に気が付き道なきルートを選択しましたが鹿児島島の藪の酷さを身をもって体感する事になり、何度か耳掛けのヘッドホンを藪に持っていかれる事にも。迷走の末、何とか GET して次の 3TX へ。

今度は失敗しないよう高压電線に注意しながら絞り込み、真北だと方角を定めて進んだのですがまたしても途中から荒地の中を突っ切らねばならず私の背丈以上に生い茂った茨の中をもがきながらも突き進み苦勞の末なんとか GET、捕えてみるとそこには東西に延びる FB な小道が見え内心、急がば回れと道を探すべきだったとまたしても反省してました。今度こそ道なりに行こう、もうミスはすまいと思いながら次に向かいました。

想定 of 4TX とは方向的には大間違いの 5TX 方面に延びる整備された小道に自然と足が向いていました。ルート間違いに気がついたのは小道をずいぶんと進行していた時で目当ての 4TX の電波が自分の予想とは反して左手側の山裏から聞こえ始めたことにルートの選択違いに気がつきました。気がついた時には修正が効かないほど進行してたので間違いに気が付いてからは、元来た道に戻ろうかとも思いましたが大幅なタイムロスになると判断、自分のミスを悔いても仕方ないので気持ちを切り替えあえて直進しながら後からの受信で方角を出そうと思っていた 1TX の場所の特定にその場は充てていました。

最近では、ルートミスに気がついた時はいつもこのパターンで時間ロスを最小限にとどめて切り抜けています。今回はこの小道の分岐付近に 5TX が有ると判っていましたので 5TX は安易に GET 出来ました。

今日はついてないモノでそこで選択ミスしたエリアに引き返す事で大きくタイムをロスする形になりましたがこれも自分の経験不足で仕方無しだと割り切って方角的にスタ

ート地点がある方角に足を向けました。前方からは、こちらに向かって 4TX を捕って来た選手たち数人とすれ違いましたが皆、顔から笑みは見受けられませんでした。4TX はスタート地点から半円で 400m ギリギリのところに設置していました。

最近の私は地図が読める分、この道の先の検索対象外エリアに入り込みそうな位置まで自分が来ていた事で大いに不安感を感じていました。ですが受信機は一向に 4TX がもう目の前のエリアにあると示してきています。日頃から使い慣れた受信機を信じ地図の特定エリアへと迷わず飛び込みました。

GET までには時間は余り掛からなかったもので、残すあと 1TX の予想ポイントまでは大したロス無く引き返しにも、もたつき等無くたどり着くことが出来ました。途中、電線が郁枝にと張り巡らせて有る住宅地内を横切りましたが先行者が団子になりながらお目当ての物を探していましたが私は先ほどおこなった検索の成果がありますからそこでは騙される事なく、当初予想したポイント近辺で受信した所一鳴きで捕らえられるエリア内に幸運にもいる事が判明し、難なく 1TX を捕まえられる事が出来ました。



その後はすかさずビーコンにチェンジし、最後の踏ん張り与时計との睨めっこそれに地図読みで最短ルートを走る事でフィニッシュは1時間14分40秒と、ミスしたわりにはまずまずのタイムが出せて競技を終える事が出来ました。振り返れば競技中のミスが大きく目立ちましたがそれを補う事がのちに出来ていたので到着タイムと競技内容には自己満足しています。競技後の速報で流れて来た結果が気になってましたが結果表では暫定1位で私のスタート順から判断して多分、ひっくり返る事は無いと判断し、3.5では3年ぶりの優勝メダルだと内心ガッツポーズを取ってました。その後、順位が確定で順位表は上位は動かず見事一位をとる事が出来ました。2位との差は2分と近差でしたのでこの日は運も私に味方してくれてたのかなと今では思っています。 次回に続く



2008 全日本ARDF競技大会

平成20年10月26日 於鹿児島・霧島

クラブ報の原稿大募集！！

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などジャンルは問いません。
原稿はメール、郵送、引取他、ご一報を頂ければご連絡をいたします。

連絡先：事務局及びE-mail

まで

★★★ 新入会員募集中 ★★★

JARL 香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成60年目(1948年10月結成)になります。

そこで、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。
クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新会員の募集
にご協力ください。

JARL 香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

**前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成19年度会費につきましても早急に納入をお願いします。**

JARL 香川クラブ報

発行責任者	JH5LYW	三好	伸幸
編集者	JA5TFJ	横田	寿夫
	JH5WMN	山口	博司
	JI5XTP	坂内	信洋